

## 最初は小さな一歩から～「熊野古道を世界遺産に登録するプロジェクト準備会」

熊野古道は今や世界に誇る和歌山の歴史遺産になっています。ただ、熊野古道が「世界遺産」になるきっかけをご存じの方は少ないのではないのでしょうか。

実は、一市民が投げかけた一言からはじまった「熊野古道を世界遺産に登録するプロジェクト準備会」が世界遺産化への大きな役割を担っていました。代表の小野田真弓さんにお話をうかがいました。



毎月1回のウォーキングイベントの様子

**熊野古道を世界遺産にできないか**  
今から20年前、和歌山県青少年課が主催する「青年交流セミナー」が開催され、小野田さんも参加していました。セミナーのテーマは「和歌山をテーマにしたイベントを企画・立案から予算・運営まで考える」という内容だったそうです。

**世界遺産になるにはどうすればいい?**  
小野田さんは、文化庁に「熊野古道を世界遺産にするにはどうすればいいですか?」と電話で質問してみました。当時、世界遺産は都道府県が申請するもので、市民からそのような問い合わせはあまりなかったそうです。

**世界遺産という言葉**  
当時、世界遺産はそれほど一般的ではなく、行政の方々に「熊野古道を世界遺産に」とお話をすると、積極的に聞いてくれる人もいれば、怪訝に思われる方もいたのだとか。ただ、色々な人に話をもちかけていると、同じような気持ちの方も見つかり、点が線につながるように同調する方が現れ、行政側も連携し、徐々に世界遺産という言葉が浸透してきました。

**現在の活動**  
12月24日にはわかやま NPO センターと共催で設立20周年記念フォーラムを開催しました。しかし、会員のみなさんは普段は他の仕事をしており、ボランティアで活動に取り組んでいるため、活動はゆっくりですが、毎月一度、熊野古道を歩くウォーキングイベントを開催しています。

**熊野古道の寛容さを広めるために**  
「本来、世界遺産は観光誘致のためではなく、貴重な自然、文化を保護し、伝えていくためのもの。熊野古道



熊野信仰と縁が深く、新宮市と姉妹都市になっている宮城県名取市でもイベントを実施

**徐々に浸透してきた**  
その時、同じグループになった7名の参加者が「熊野古道を世界遺産に登録しよう」というテーマで交流を深めました。セミナー後もその7名が集まり「熊野古道」や「世界遺産」についてもっと知りたいと感じ、詳しく調べたいと思います。

**入ることもできる寛容な文化は、他にはないものです。その事を色々な方に理解していただけるよう、活動を続けていきたい。」と小野田さん。**  
世界遺産には熊野古道の一部しか登録されていないという理由から「熊野古道を世界遺産に登録するプロジェクト準備会」という団体名はそのままにしています。

**【今後のウォーキングイベント】**  
1月 発心門王子～赤木越え～大日越え～熊野本宮大社  
2月 三輪崎駅～高野坂～阿須賀王子（追加登録箇所）～熊野速玉神社  
3月 富田坂（追加登録箇所）  
\*ご興味のある方はお問い合わせください  
**【問い合わせ先】**  
熊野古道を世界遺産に登録するプロジェクト準備会  
〒640-8319 和歌山市手平 2-1-2 和歌山ビッグ愛 9階（公社）和歌山県青少年育成協会内  
TEL : 090-1585-0423(事務局) 073-433-1678 (20時以降)  
URL http://www.kumako1997.com/  
メール kumako97@jtw.zaq.ne.jp



### みんなでつくる情報板 わかやまイベントボード

- 箏・初春コンサート**  
初詣と一緒にいかがですか。  
日時 1月3日(水) 13:30～14:30  
場所 和歌山県植物公園・緑花センター別館展示室西側  
出演 箏貴美会  
参加費 無料  
問い合わせ 和歌山県植物公園・緑花センター (0736-62-4029)  
備考 年始は1月2日より開園。
- エントランスコンサート**  
今回はピアノの演奏をお楽しみ下さい。  
日時 1月5日(金) 12:00～12:30  
場所 和歌山県立図書館 2階メディア・アート・ホール  
参加費 無料  
問い合わせ 和歌山県立図書館文化情報センター (073-436-9500)  
備考 詳細はウェブサイトをご覧ください (https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/bunjyo/)
- ホームステイ&異文化体験説明会**  
春休みに開催する、中学・高校生対象のロサンゼルスとサンディエゴでの短期留学の説明会

です。  
日程 1月6日・13日(土) それぞれ15:00～16:00  
場所 和歌山 YMCA  
内容 留学期間中(3月23日～4月5日)の予定プログラム等についての説明。  
参加費 無料(申し込み必要)  
問い合わせ・申込み 認定NPO 法人和歌山YMCA (073-473-3338、language@wakayamaymca.org)  
備考 留学プログラムには定員があります。定員に達した場合はご了承下さい。詳細は YMCA ウェブサイト (http://www.wakayamaymca.org) から「ランゲージセンター」のページへ。

●**前山 A58 号墳の実物大の埴輪を作ろう(3)**  
古墳復元事業の際に使う実物大の埴輪をつくりませんか。  
日時 1月13日(土) 10:00～16:30  
場所 県立紀伊風土記の丘  
定員 15名(中学生以上)  
参加費 入館料のみ(初参加の方は350円が追加が必要)  
問い合わせ・申し込み 県立紀伊風土記の丘 (073-471-6123)  
備考 初参加の方は2/3サイズの制作となります。

このほかの情報もたくさん掲載!  
「わかやまイベントボード」  
URL http://eventboard.shiminjuku.jp/

### SDGs 国連・持続可能な開発目標を知ろう ②②

**【フォローアップとレビュー】**  
SDGs は強力なグローバル・パートナーシップの元において実行されることが強く意識されています。また「誰一人取り残さない」ことを謳っています。そこで、SDGs の実施にあたっては、進捗状況を逐次確認する仕組み「フォローアップ・レビュー」を強力に推進することがSDGsの最後に明記されています。

◆ ◆ ◆

その原則として、①自主的に国家が主導しておこなうこと、②すべての国でSDGsの性質を尊重しながら進捗を確認すること、③長期的な方向性や達成の度合い、課題やギャップなど、成功に必要な要素を見出すこと、④すべての人々に対して開かれ、すべてのステークホルダーによる報告を支援するものであること、⑤人間を中心にしながら、ジェンダーや人権に配慮し、最も取り残された人々に焦点を当てること、⑥各国の状況や能力、必要性、優

先事項に対応しつつ、改良を加えること、⑦正確性を保ち、根拠のあるものであること、⑧発展途上国等の能力開発の拡大をおこなうこと、⑨国連のシステムと多国間による機関による積極的支援をおこなうこと、の9つが示されています。

◆ ◆ ◆

そのうえで、国内レベル、地域レベル、全世界レベルなど、あらゆる階層でフォローアップ・レビューをおこなうことを求めています。

国内レベルでは、先住民、市民社会、民間セクターなどの声を反映させる形でレビューを行うことを、地域レベルでは国家間の相互の学びや共通のターゲットに関する成功例と議論を共有すること、全世界レベルでは国連総会や国連参加の各種会議・機関と一貫性を確保することが挙げられています。

これらを受けて、国連事務総長は毎年「SDGs 進捗報告」を作成し公表すること、国連経済社会理事會が所管する「グローバル持続可能開発報告」を活用すること、各国の政策立案者が科学的裏付けを持ちながら貧困の撲滅と持続可能な開発を促進することを求めています。

また、4年に1回「ハイレベル政治フォーラム」を開催し、SDGsの進捗状況と課題の特定、さらなる施策等の動員について検討することとしており、初回のフォーラムは2019年に開催することとなっています。

◆ ◆ ◆

国連加盟国は現在193。17分野169のターゲットを定めるSDGsは、国連加盟国すべてに参画を求めただけではなく、国を構成するあらゆるステークホルダーの参画をも求め、「誰一人取り残さない」ことを目指す非常に野心的な目標です。日本国内での認知度はまだまだ高くはないのが実情ですが、首相を本部長とする政府SDGs推進本部が組織され、全庁が一体になってSDGsの推進を図ることになっているほか、経団連も企業憲章にSDGsの考え方を盛り込むよう求めるなど、徐々に広がりを見せています。

一人ひとりがすべてのターゲットの解決に関与できるわけではありませんが、できることから少しずつ、考えてみてはいかがでしょうか。

**【SDGsについて知ろうは今回で終わります】**